

4月1日、高市総理大臣とマクロン仏大統領は、日仏首脳会談の機会に、「人工知能（AI）分野における協力に関する日仏共同声明」を発出したところ、概要以下のとおり。

- AIは科学技術、産業・ビジネス、外交・安全保障を含むあらゆる側面で社会に大きな変化をもたらしていることを認識。イノベーションと競争力を強化し、AIに関する自国の能力を強化する必要性を確認。AIの持続可能な開発のため、安定的かつ多様で信頼性の高いAIサプライチェーン確保の不可欠性を確認。
- 具体的な協力を深化させるため、AIに関するハイレベル対話を立ち上げ。

## 1. AIの安全性（国際的ガバナンス）

- 広島AIプロセスに沿って「安全、安心で信頼できるAI」を中心とした国際ガバナンスを推進する重要性を確認。G7を始めとする国際場裡における連携強化で一致。
- AIモデル等によってもたらされる安全及びセキュリティ上のリスクに対処するため、協力をさらに深化させる必要性を強調。
- 軍事領域におけるAIの活用が、精度・正確性・効率性の向上等の利益をもたらし得ると同時に、課題も提起していることを認識し、人間中心のAI技術及び国際場裡での取組を調整する意思の必要性を再確認。
- マクロン大統領は、日本でのAIサミット開催を目指す高市総理の意向を歓迎・支持。

## 2. 安全保障のためのAI（経済安全保障、研究、イノベーション）

- 経済安全保障、デュアルユース技術の協力強化、両国のイノベーション・エコシステム間の連携促進、スタートアップのマッチング支援等、AI分野の協力深化の戦略的重要性を認識。Sakana AIとCurrent AIによるMoU署名を歓迎。
- AIモデル・システムの多様化（特に多言語化）等に向けて、企業間協力の深化を要請。
- 多様なパートナーやサプライヤーとの協力によるAIサプライチェーンの強靱性向上に係る取組推進、共同研究や研究者交流を含めAI分野における研究協力の深化の重要性を確認。

## 3. AI for Good（第三国における能力構築）

- 仏が2025年に開催したAIアクション・サミットの成果も踏まえ、包摂的で持続可能かつアクセス可能なAIの開発に向けた国際的な取組を共同で支援・拡大する決意を改めて確認。
- AIIエコシステムの共創には、第三国やマルチステークホルダーとの協力強化が重要。